

3月・4月の催し物

紙の博物館
☎ 893-0886

- 第2回全国土佐和紙はがき絵展
2月15日(日)～4月19日(日)
土佐和紙の素晴らしさを知ってもらおうと昨年引き続き土佐和紙に描いたはがき絵を全国から募集しました。土佐和紙の魅力と小さなはがきから広がる世界を感じる作品を展示します。
- 土佐和紙とオリガミ
2月18日(水)～3月15日(日)
オリガミの歴史や日本有名作家の作品や連鶴等を展示します。2/28・3/1の各13時～と15時～はお雛様折紙作家丹羽悦子さんが講師で折紙をします。こちらは各回20名です。紙の博物館にお申し込みください。会期中(2/28・3/1は除く。)は柳井陽子さんが講師で型染めした紙で折紙をします。土佐和紙の可能性にふれてみてください。(どちらも参加料500円)
- 草川メイ・木島由美子紙布ふたり展
～高知の紙布と山形の紙布との出会い～
4月4日(土)～4月19日(日)
高知市在住の草川メイさんと山形県長井市在住の木島由美子さんの紙布から作った着物や帯、反物などふたりのオリジナル作品を多数展示します。

○緑の宝石会・石斛、風蘭、山野草、小品盆栽、土佐水石展
4月10日(金)～4月12日(日)
緑の宝石会員による展示会です。石斛70鉢、風蘭20鉢、山野草30鉢、小品盆栽5席と土佐水石12席を展示します。

ギャラリー・コパ
☎ 893-1200

- ◇「伊野の漉き人たち」Ⅳ
2月28日(土)～3月8日(日)
伝統ある手すき和紙の技術を習得するため、いの町で紙漉きの技術を習得中の人、習得後自立し技術を磨いている人たちの姿を紹介したく企画しました。職人たちが情熱を注いで作った作品、約300点を展示販売します。
- ◇ハンドメイドパーティーⅦ
3月12日(木)～3月15日(日)
昨年の展示会から一年、物作りの好きな仲間が展示会を目標に作った、パッチワークの袋物や、入園、入学グッズ、エプロン、ビーズアクセサリー等、約350点を展示販売します。
- ◇谷脇和隆 手づくり木工作品展
3月17日(火)～3月22日(日)
日高村に工房をかまえる手作り木工家、谷脇和隆さんの展示会です。ケヤキやトチ、サクラ、ナラなどの木目をいかして作ったテー

ブルや座机、額、花台、小物入れ等、約120点を展示販売します。木のぬくもりや技によって存在感あふれる作品をご覧ください。

- ◇春の和布展
3月25日(水)～3月29日(日)
土佐市の浪漫堂の展示会です。久留米紬や麻、和布などの素材をいかして、ジャケットやワンピース、スカート等、ゆったりサイズから小さなサイズまで着心地の良い服を作りました。その他、アクセサリーや和の小物など、合わせて、約300点を展示販売します。
- ◇奥田芳樹 木の創作展
4月1日(水)～4月5日(日)
香川県で木の家具を中心に創作活動をしている、奥田芳樹さんの展覧会です。ナラやタモ、ウォルナットなどの素材をいかして作った椅子やテーブル、箱物など40点を紹介します。その他、写真立て、鏡、一輪挿し、明かりなどを展示販売します。
- ◇手作り和風展
4月8日(水)～4月12日(日)
高知市の手作りはうす遊結の展示会です。着る機会の少なくなった着物や帯をいかして洋服やバック、アクセサリー、和の小物などを作りました。その他、昔着物など、合わせて、約700点を展示販売します。

工芸村だより
ギャラリーぼたにか



3月
催し

田村裕典ペン画作品展
～魂の内なるものへ～

3月7日(土)～4月12日(日) 10:00～17:00
(ただし、水曜日[定休日]を除く。)

きわめて精密な点描による深く静かなモノクロームの世界。かつて、美術評論家洲之内徹に見いだされ、1980年「現代画廊」(東京銀座)で作品を発表して以来30年、土佐清水の地で黙々と制作を続けてきた画家田村裕典(ゆうすけ)さんの、魂の内に届く充実のペン画約40点を紹介します。